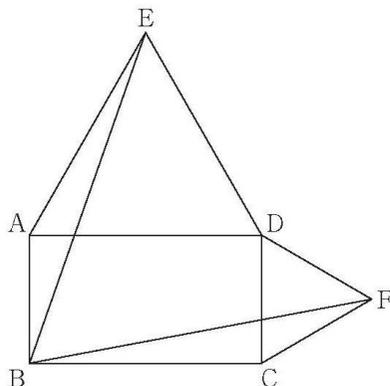


- 9 次の図1は、長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFをかき、点Eと点B, 点Bと点Fを結んだものです。

図1



琴音さんは、線分EBと線分BFについて次のことを予想しました。

予想

長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFがあるとき、 $EB = BF$ になる。

次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

- (1) 前ページの予想が成り立つことを、次のように証明しました。

証明

$\triangle ABE$ と $\triangle CFB$ において、
正三角形の3つの辺はすべて等しいから、

$$EA = AD$$

長方形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

よって、 $EA = BC$ ①

同じようにして、

$$AB = CF$$
②

また、正三角形の1つの内角は 60° であり、長方形の1つの内角は 90° であるから、

$$\angle EAB = 60^\circ + 90^\circ = 150^\circ$$
③

$$\angle BCF = 90^\circ + 60^\circ = 150^\circ$$
④

③, ④より、

$$\angle EAB = \angle BCF$$
⑤

①, ②, ⑤より、 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABE \cong \triangle CFB$$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$$EB = BF$$

上の証明の に当てはまる言葉を書きなさい。

解答欄

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

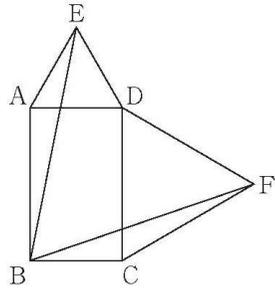
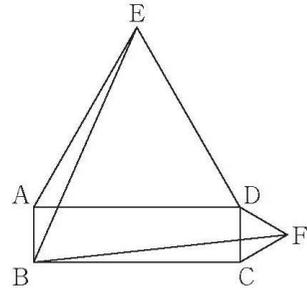


図3

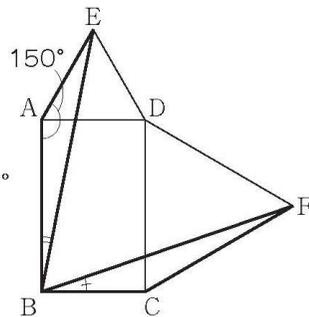


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

① $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

② $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の[]に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

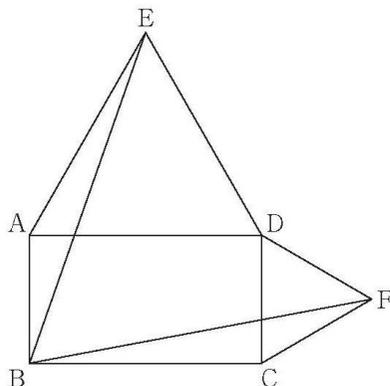
[]

$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

解答欄

- 9 次の図1は、長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFをかき、点Eと点B, 点Bと点Fを結んだものです。

図1



琴音さんは、線分EBと線分BFについて次のことを予想しました。

予想

長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFがあるとき、 $EB = BF$ になる。

年 組 番 氏名

次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

- (1) 前ページの予想が成り立つことを、次のように証明しました。

証明

$\triangle ABE$ と $\triangle CFB$ において、
正三角形の3つの辺はすべて等しいから、

$$EA = AD$$

長方形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

よって、 $EA = BC$ ①

同じようにして、

$$AB = CF$$
②

また、正三角形の1つの内角は 60° であり、長方形の1つの内角は 90° であるから、

$$\angle EAB = 60^\circ + 90^\circ = 150^\circ$$
③

$$\angle BCF = 90^\circ + 60^\circ = 150^\circ$$
④

③, ④より、

$$\angle EAB = \angle BCF$$
⑤

①, ②, ⑤より、 がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABE \cong \triangle CFB$$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$$EB = BF$$

上の証明の に当てはまる言葉を書きなさい。

解答欄

2組の辺とその間の角

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

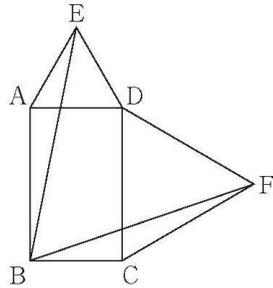
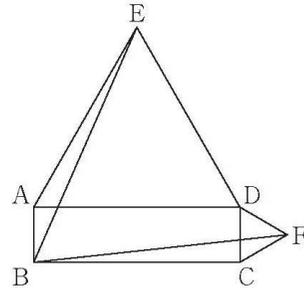


図3

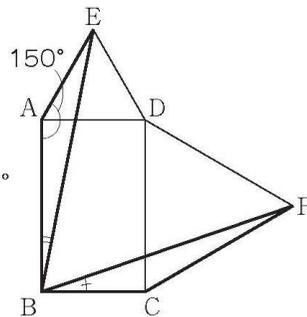


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

① $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

② $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の[]に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

[]
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

解答欄

(例)

$\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ より、合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle AEB = \angle CBF \dots ①$
 $\triangle ABE$ において、三角形の内角の和は 180° で、 $\angle BAE = 150^\circ$ であるから、
 $150^\circ + \angle ABE + \angle AEB = 180^\circ$
 $\angle ABE + \angle AEB = 30^\circ \dots ②$
 ①, ②より
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$
 したがって、 $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和は 30° になる。